

## 〔学 会〕

## 東京女子医科大学学会 第137回例会

日 時 昭和41年4月22日(金)午後1時50分より  
場 所 東京女子医科大学 本部講堂

## 1. Fanconi 貧血の1例

(小児科)原田 裕子

5才10カ月の男児, 身体發育遅延, 色素沈着, 右手拇指の多指症, 骨年令遅延, 歯牙發育遅延, 腱反射亢進等の奇型と共に, 汎血液細胞減少症を伴った Fanconi 貧血の1例である。末梢血は比較的リンパ球増多, 赤血球の大小不同, 栓球減少があり, 大赤血球性高色素性貧血である骨髓組織は hypoplasia で細胞数減少, リンパ球の比較的増加が著明である。内分泌検査に異常なく, 血清化学的にも正常であつた。また染色体検索も行なつたが, 数には異常が見られなかつた。

## 2. 新宿区内一地区の小中学校生徒の血圧調査

(三神内科)○梅岡 智子・三神 美和  
小林 成子・沢井 明子・野地 キミ  
竹宮 敏子・渡辺 順子・多島 温子  
山下 克子・奈良 和子・鈴木 幹子

近年, 若年性高血圧を早期発見することが重要視され, 若年者の集団検診および精密検査が行なわれている。

われわれも, 新宿区内の校医の希望により, 高血圧の発見および原疾患を追究する目的で, 小・中学校生徒の血圧, 尿の検査を行ない, 2, 3の知見を得たので報告する。

調査方法: 対象は, 新宿区内の幼稚園, 小学校それぞれ2校と, 中学校1校で, 男子1094名, 女子917名の計2011名である。時期は昭和40年10月7日より11月31日までである。

血圧測定は, 10分間安静臥位ののち, 臥位, 坐位, 立位の順で測定した。高血圧者は心電図, 尿を検査し, 遺伝関係を調査した。

調査成績: 性別, 学年別最高血圧および最低血圧の分布は, 男女ともその分布は各学年を通じて正規分布に近い形を保ち, 最頻値は学年が高くなるにしたがつて高圧

側に傾いている。

性別, 学年別最高血圧および最低血圧の平均値は, 男女ともほぼ学年と共に上昇しているが, 女子中学3年では中学2年と同程度である。

高血圧は, 男子中学13名, 女子は小学6年に1名, 中学に3名みられた。これらの17例の検査成績は, 尿糖, タンパク陰性で, 遺伝関係では5例に高血圧症家族がみられた。

考按: 若年性高血圧の中には, いわゆる本態性高血圧が若年より始まつたと考えられるものと, 原疾患の存在する場合があります。浅野らは後者の場合, 腎疾患と80%関係があると述べているが, 演者らの17名では, 尿タンパク陽性のものは1例もなかつた。これが将来, 本態性高血圧に移行するか否かについては, 問題もあり興味ふかきことと思われるので, 今後更に検討してみたい。

## 3. 外科における酸塩基平衡

特に人工心肺使用症例について

(第一外科)○田中 孝  
金子 俊昌・小林 尚子

心臓外科, 殊に人工心肺を用いた手術症例においては, 酸塩基平衡が生理的範囲を逸脱して変動する場合が少なくない。Astrup 氏法を中心として, この問題を追求し, その対策に関して聊か知見を得たので, 綜括的に述べた。

## 4. CO 中毒時における糖質代謝について

—— 血中有機酸の変動 ——

(法医)○吉成 京子  
堀 昭・猪熊 テイ

先年教室の網脇はラットを用い低圧時における糖質代謝について報告した。その後, 私共はウサギを用い, CN 中毒時の血中有機酸の変動を報告した。今回は同じく酸素欠乏が起こる CO 中毒時の血中有機酸の変動を報告する。